

## 委員意見

(吉田専門委員)

地質に関して、火成岩（花崗岩）の地山ではあるものの全体的に割れ目が発達しているように見えますが、湧水も少ないようであり、また大きな断層のような構造も鏡部分の写真からは特に判読できないことから、地質学的な極端な弱線構造等を見落としているといったことはないように感じられます。

今回の事故については、報告書において、発破後の立ち入り禁止範囲に発破作業指揮者からの指示がない中で立ち入ったことが原因とあげられており（瀬戸トンネル報告書5-1）、報告書に示されている現地での地質学的状況からも、その分析結果に対して特に追記するようなコメントはありませんでした。

その上で、地質的には花崗岩地域であっても、おそらくこの地域では過去の断層等の形成によって割れ目の発達する岩盤が今後も断続的に展開することになると考えられますので、部分的に脆弱な岩盤にあたる可能性も否定できませんので、特に切羽に関しては、地質状況を確認され、安全対策を十分にされた上で工事を進められることが大事かと思う次第です。